

2017 年度前期 学生授業評価アンケート集計結果に対するコメント

—キャリアセンター—

キャリアセンター長 相原 章

全学共通教育科目のキャリアセンター開講科目についてアンケートが実施され、延べ 238 名の学部生のみなさんからご協力を頂きました。この場を借りて、お礼申し上げます。また、今回もアンケートの実施にあたり貴重な授業時間中にご協力頂きました先生方にも厚くお礼申し上げます。

今回の授業評価アンケートは、実施対象科目数 10 科目（実施必須科目数 9、実施任意科目数 1）のすべての科目で実施されました。その集計結果についてコメントを行いたいと思います。

授業の満足度を示す「総合的にこの授業を評価できる」の回答平均値は、5 段階評価で 4.56（昨年度 4.36）であり、昨年度よりもポイントがアップしただけでなく、大学全体の回答平均値 4.36 よりもやや上回った結果となりました。この「総合的にこの授業を評価できる」とのあいだで強い正の関係がみられたのが、「この授業のこの分野の関心と学力が得られた」（相関係数：0.84）、「授業への教員の熱意を感じた」（相関係数：0.77）、「この授業のレベルはあなたにとって適切であった」（相関係数：0.74）、「教員の話し方は明瞭であった」（相関係数：0.63）でした。

この結果は、キャリアセンターが開講している科目の多くで、受講者の興味・関心を刺激する双方向的な授業が展開されていることをあらわしていると捉えることができると考えます。また、講義の仕方によっては、先生方には、思考力や実践力を培わせるためのファシリテーターとしての役割も十分に発揮して頂いたとも考えられます。

一方で、例年通り、「予習または復習をよくした」の回答平均値は、大学全体の回答平均値（3.47）とほぼ同様の 3 点台（平均回答値：3.38）となっています。他の項目のすべてが 4 点台であったことと比べると幾分低い値を示しています。しかしながら昨年度前期の回答結果（平均回答値 3.08）と比べてみると、僅かではありますが改善をみてとることができます。

今回のアンケート結果でみられた「良い」ところについては、今後も伸ばし、「気になる」ところについては改善を進めていき、授業の質的向上に努めていければと思います。